

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

時代を超えて世界の人々に愛されるコンテンツとサービスを創りだし、多様な価値観が尊重され、希望にあふれる社会の実現に貢献

売上高
4,250億円

営業利益
215億円

ROIC
3.2%

売上高
4,500億円

② 中長期の経営戦略

1. コンテンツIP創出力強化

ドラマ・報道・バラエティ・アニメなどのコアコンテンツと新たなコンテンツから優れたIPを選定し、テクノロジーやデザインで磨き上げ、放送・EDGE領域で成長加速

3. 事業ポートフォリオ拡充

放送事業・無料配信を安定収益領域、有料配信・知育教育を成長注力領域、グローバルビジネス・新規IP戦略を種まき領域として最適配置

2. EDGE戦略推進

Digital（配信強化）・Global（海外市場飛躍）・Experience（ライブエンタテインメント拡大）に経営資源を集中し、成長事業領域の確実な伸長を実現

4. グローバルビジネス加速

米国・韓国での体制強化やコンテンツIP販売代理店子会社化により、コンテンツを世界規模で制作・販売。2024年度を「グローバルビジネス元年」と位置付け

③ 対処すべき課題

① 経営環境変化への対応

- ・放送広告市場の大幅拡大が見通せない中での成長事業領域の伸長
- ・メディア環境激変への対応と信頼性・公共性維持
- ・世界情勢・人口動態の変化への経営課題対応

② コンプライアンス・人権尊重

- ・マスメディアとしての社会的使命と信頼の徹底
- ・2024年4月にコンテンツ制作関連事業者152社へ人権デュー・ディリジェンス実施
- ・「コンテンツ制作における人権尊重のための指針」策定と救済窓口新設

③ 従業員ウェルネス・働き方改革

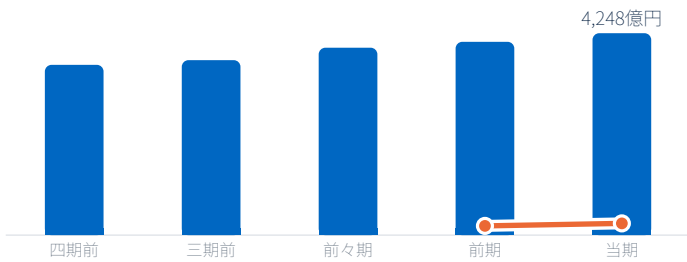
- ・健康経営優良法人2025（ホワイト500）に2年連続認定達成
- ・プレゼンティーズム前年度比8.2ポイント向上を実現
- ・安全で働きがいある創造的職場づくりの継続推進

面接で使えるポイント

- ・VISION2030で掲げた3つのフェイズと中計2026が第2フェイズに該当し…
- ・「ときめくとき。」というブランドメッセージで、心揺さぶるコンテンツを通じて多様な価値観が尊重される社会を共創する企業姿勢
- ・2024年度を「グローバルビジネス元年」と定め米国法人機能強化・韓国法人設立など…

証券コード 9401

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,248億円営業利益率
5.8%財務健康度
45点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 63.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,328万円

情報・通信業内 9位/592社

平均年齢
45.6歳

情報・通信業内 46位/593社

平均勤続
14.0年

情報・通信業内 50位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

